

ジェトロ「ビジネス短信」添付資料

表 シカゴ連銀経済報告（2023年10月18日公表）

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は緩やかに（moderately）増加 賃金は緩やかに（moderately）上昇	一部の関係者によると、労働者の転職意欲は減退し、賃金の提示を突き返すことも少なくなっている。小売業では、ホリデーシーズンの雇用は昨年同時期と比べ小幅に減少した。賃金と福利厚生費は緩やかに上昇したが、伸びは鈍化している。
物価	緩やかに(moderately)上昇	関係者は今後1年間も同様の上昇率を予想。人件費以外のコストは小幅に上昇し、エネルギーコストの上昇の指摘もあった。サプライチェーンの問題は少なくなったが、原材料費は高止まりしているとの指摘があった。出荷価格は、ガソリン価格の上昇を主因として小幅に上昇した。消費者物価は、堅調な需要とコスト上昇の転嫁により緩やかに上昇した。
個人消費	わずかに（slightly）増加	ある関係者は、食料品の売上が全体的に増加したことを指摘したが、低所得の消費者が買い物の量を減らし、質の劣る安価な商品を買っていると指摘した。新学期準備期間やホリデーシーズン初めの売上は予想通りであった。ホテルとレストランの減少によって、娯楽とホスピタリティの支出はやや軟化した。
企業支出	わずかに（slightly）増加	産業用・商業用エネルギー需要はやや増加したが、家庭用エネルギー需要は小幅に減少した。大半の小売業者の在庫は、希望よりやや多い。今後の見通しとして、例年より休暇中の商品発注が少なく、通常の季節的在庫の積み増しを見送る小売業者もあるとの報告があった。製造業では、在庫は概ね快適な水準にあり、複数の関係者が供給網の混乱の改善を指摘した。
建設と不動産	控えめに（modestly）減少	住宅建設は控えめに減少し、関係者は今年いっぱいには緩やかなペースが続くと予想している。住宅価格はわずかに上昇したが、賃料は横ばいとなった。非住宅建設はわずかに減少した。現在進行中の建設は12カ月~24カ月前に計画されたものであり、将来の建設計画に対する許可証の発行は顕著に減少している。サプライチェーンの問題は長引き、電気スイッチボックス、回路基板、変圧器、ヒューズ、空調機器の入手困難が報告された。
製造業	控え目に（modestly）減少	ある自動車サプライヤーは、自動車メーカーはストライキ前に必要な部品を入手するため、高値を支払うことを厭わなかったという。このサプライヤーは、供給先工場の労働者がストに突入する直前に大口の注文を受け、自動車メーカーの納期に間に合わせるために週末を徹して働き、ヘリコプターで注文品を届けた。大型トラックの需要は、在庫が緩やかに減少するなか、横ばいで推移した。
金融	わずかに（slightly）引き締まった	債券および株式市場の資産価値はわずかに減少し、ボラティリティ（値動きの大きさの度合い）は上昇した。関係者は、特に不動産向けの商業ローン需要がさらに減少していると指摘した。消費者ローン需要も全体的にわずかに減少し、自動車ローンおよび住宅ローン残高は減少したが、クレジットカード債務は増加した。消費者ローンの質は若干低下した。消費者ローン金利は小幅に上昇し、貸出基準は若干引き締まった。
農業	2023年の農業所得の見込みは2022年を大幅に下回る	牛の価格は上昇したが、伸びはやや鈍化した。卵の価格は横ばいだったが、乳製品の価格は多くの場合上昇した。農地価格は下落の兆しを見せ、特に品質の劣る土地で顕著だった。金利の上昇は、多くの経営者の負債水準が高いことから、農家の財政を圧迫した。
地域社会の状況	経済活動にほぼ変化はなし（little change）	中小企業経営者は、労働市場のひっ迫が成長を妨げており、信用状況の悪化もあって事業拡大には消極的であると報告した。非営利団体は、低価格帯住宅の供給が限られているため、家賃が上昇し家計を圧迫していると報告した。小規模な自治体では、住宅や保育の選択肢が限られているため、労働者を確保し、定着させる取り組みが損なわれているとの報告もあった。

（出所） シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成